

# 平成30年度 決算報告

決算は、村がどのような事業を行い、どのようなお金が入ってきたかなどをとりまとめたものです。平成30年度の決算や財政指標から、本村の財政状況をお知らせします。

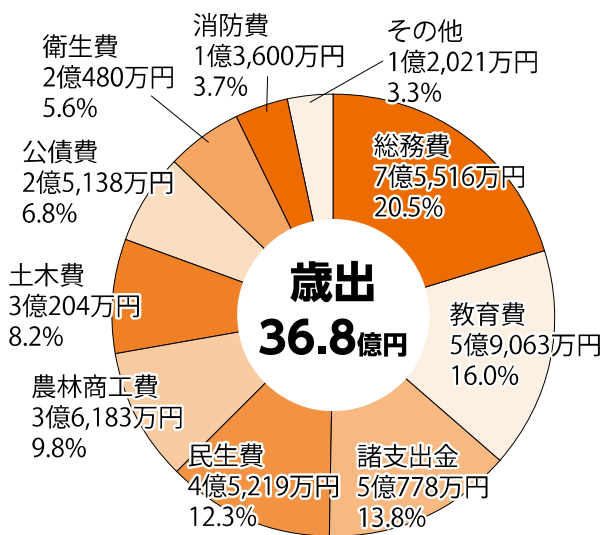
平成30年度一般会計決算は、歳入41億1,464万円、歳出36億8,202万円、前年度と比べると歳入で2億1,004万円、歳出で4,876万円増加した決算となりました。

また、一般会計と8特別会計及び水道事業会計の合計10会計を合算すると、歳入61億4,309万円、歳出57億4,324万円となり、前年度と比べると歳入で1億2,324万円、歳出で2億8,278万円減額した決算となりました。

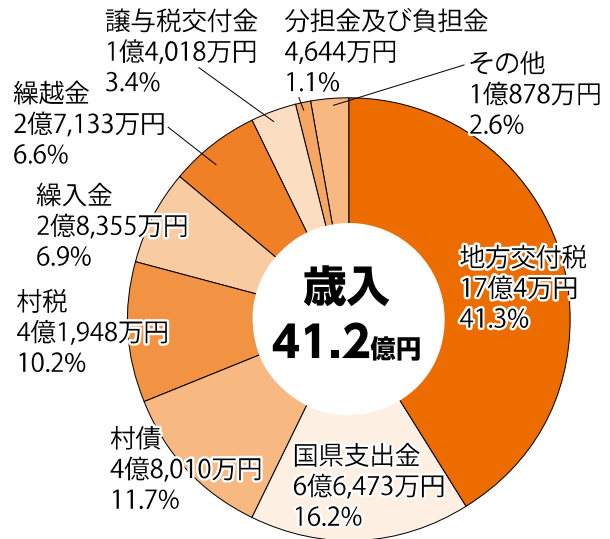
財政健全化法に基づく判断比率は、国の定める基準を下回り、財政状況は健全であるという結果ができました。今後も引き続き、健全な財政運営の取り組みをおこなっていきます。

## 一般会計決算内訳

### 歳出



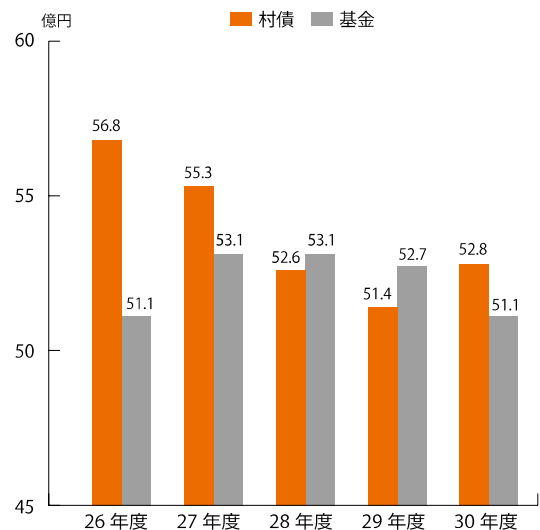
### 歳入



## 特別会計決算額

会計名	歳入	歳出
整備基金	5,711万円	5,312万円
高松塚壁画館受託事業	1,443万円	1,443万円
国民健康保険(事業勘定)	6億9,061万円	7億2,279万円
// (診療施設勘定)	1,001万円	1,001万円
後期高齢者医療	9,381万円	9,373万円
介護保険(事業勘定)	5億9,161万円	5億7,437万円
// (サービス事業勘定)	519万円	421万円
飲料水供給施設事業	304万円	304万円
下水道事業	2億9,628万円	2億8,263万円
公有地等住宅開発事業	1,740万円	1,740万円
水道事業会計	2億4,895万円	2億8,549万円

## 村債(借金)と基金(貯金)の推移



## 平成30年度に実施した主な事業

### 第4次整備計画事業の推進

◆生活環境及び産業基盤の整備

#### 整備計画等推進事業

**182万円** 「明日香村特別措置法」に基づく第4次整備計画の推進及び第5次整備計画に向けての要望活動及び各関係機関との協議を実施。(飛鳥古京を守る議員連盟及び明日香村の保存・整備PT 合同総会・現地視察)(明日香村小委員会 会議・現地視察)

#### 総合計画策定事業

**58万円** 令和2年度から10年間の明日香村総合計画の策定に向けた調査や意見交換及び検討を実施。(住民及び小中学生アンケート実施・ワークショップ開催・策定審議会開催)【H30～】



▲ワークショップ

#### 道路整備事業

**3,558万円** 道路改良工事(村道地ノ窪線等)を継続して実施。舗装工 A=2,688㎡ 用地買収 A=575.43㎡

#### 都市水環境整備事業

**5,661万円** 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、下水道管布設工事(真弓・雷)を実施。開削工法 L=1,075m

#### 重要給水施設配水管整備事業

**8,932万円** 災害時に給水拠点となる避難所等への配水管の耐震工事及び老朽管の更新工事等を実施。重要給水施設配水管整備工事 L=769m、老朽管更新工事 L=457m

### 暮らしたくなる村づくり

◆居住・定住、交通・基盤、教育・子育て、健康・福祉

#### 定住促進事業

**67万円** 空き家を有効活用し定住促進を図るため、空き家バンク制度に基づく支援を実施。【H21～】  
(登録奨励金8件、仲介補助金8件、動産整理費用補助金5件、リフォーム工事補助金3件)

**1,500万円** 子育て世帯の定住促進を図り、子育て世帯の新築等住宅に対し、助成を実施。15件【H28～】

**1,740万円** 阪合地区の住宅開発事業地「檜前いおり野」において、子育て世代をターゲットとした入居の促進と住宅建設の際の景観誘導を実施。入居件数 15件【H28～】

### 地域防犯推進事業

**718万円** 地域の防犯力の向上を図るため、防犯カメラ等を設置。  
(防犯カメラ設置7基、防犯カメラ補助3大字、防犯灯  
修繕10基、防犯灯 LED 化補助21大字255基)【H30～】



▲防犯カメラ

### 公共交通運行事業

**4,358万円** 主に村民の交通手段を確保することと、高齢者等の外出支援を行うため、効率的で効果的な公共交通の運行を実施。【H15～】

### 災害対策事業

**263万円** 地震や局地的豪雨などの自然災害に備えて、備蓄  
品等の充実を図った。【H21～】



▲防災訓練

### 公衆無線 LAN 環境整備事業

**601万円** 災害時の避難所・避難場所となる公共施設や観光関連エリアに公衆無線 LAN を設  
置。(8箇所、14アクセスポイント)【H30～】

### 橋梁長寿命化事業

**1,151万円** 事後的な修繕、架替えから、予防・計画的なものへの転換により、橋梁の長寿  
命化及び修繕費用の縮減等を図るため、橋梁の定期点検(31橋)を実施。

### 舗装修繕事業

**2,064万円** 円滑な走行環境と安心安全な通行の確保を図るため、幹線道路の損傷した舗装  
の修繕等を実施。舗装工事(村道耳成線) A=1,721㎡、測量(村道御園・真  
弓1号線他) L=900m

### 健康づくり事業

**1,283万円** 特定健診に特化したあすか健康プロジェクト【H24～】を継続実施し、加えて、  
糖尿病性腎症予防事業【H30～】や糖尿病性治療勸奨【H30～】に新たに取り  
組み、重症化予防の強化を図った。また、健康ステーション事業【H29～】を  
継続実施し、重症化となる疾患の発症予防に取り組み、多世代にわたる健康意  
識の向上を図った。会員数770名

### 第7期介護保険事業の推進

**5億7,436万円** 村の介護保険制度の安定的運用を図るため、介護保険料の改定を実施し、  
制度の安定的な運営を図った。また、フレイル予防体操の実施、サロンの  
拡大(17カ所)、見守りや安否確認、外出支援など日常生活の支援活  
動を展開した。【H30～】

### 子ども子育て支援事業の推進

**959万円** 子育て世代包括支援センターでの総合相談窓口や子育て交流・教室等の運営をし、  
母子の健康管理や虐待防止と子育て世代への包括的な支援を継続実施。【H28～】

**553万円** 不妊治療費助成【H28～】・妊産婦健診助成【H18～】・給食費負担軽減【H28～】・幼稚園保育料軽減【H28～】・小・中学校への新入学児童・生徒へ入学祝金の支給【H29～】を継続し、経済的な負担の軽減を図った。

**979万円** 小学校の空き教室を利用して放課後児童健全育成事業を実施し、適切な遊びと生活の場を提供【H25～】。利用児童数 58名(通年47名 夏休みのみ11名)

**子育てアプリ事業**

**124万円** 子育てに役立つ情報が手軽に入手できるあすかっこアプリの運営を開始し、子育て交流や不安の軽減を図った。会員登録数142名。【H30～】



▲子育てアプリ

**幼小中学校経営事業**

**5,011万円** 特色ある教育として、幼小中一貫教育、英語教育、郷土学習を推進し、幼小中12年間を通したさらなる連携の深まりや教育内容の充実を図った。併せて、郷土学習の副読本を改訂。また、発達障がい等支援が必要な子どもに特別支援講師を配置した。さらに教育相談員として臨床心理士を雇用し、不登校や問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に努めた。

**学校施設環境整備事業**

**7,399万円** 子どもたちが安心・安全に学習できる環境整備と老朽化した給食センターの設備更新を行った。小学校空調機器等設置工事、給食センター設備改修工事(受電設備改修、ボイラ購入)



▲小学校空調機器

**働きたくなる村づくり**

◆商工業、農林業

**空き家等の対策及び活用事業**

**550万円** 既存建物を改修し商業施設として活用する際のリフォームに対し一部助成を実施。(3件)

**担い手育成支援事業**

**493万円** 農業従事者の高齢化や担い手不足が進展するなか、持続的な営農活動が行えるよう、新規就農者や認定農業者等が行う生産活動の支援を実施。(農業次世代人材投資事業(新規就農者支援)4名、農業後継者支援事業 2名)【H22～】

**農業振興施設整備事業**

**7,366万円** 農作業の受託や農産物の集出荷及び農業体験やオーナー制度等の窓口機能等を備えた農業の拠点施設の整備【H28～】 場所：真弓地内 農業体験施設 A=189㎡、農機具収納施設 A=198.99㎡、農業情報発信多目的施設 A=232.05㎡

**有害獣対策事業**

**722万円** 有害鳥獣による農作物の被害を抑えるため、猟友会及び捕獲専門員と連携し、個体数の減少に取り組むとともに、狩猟免許の取得・更新助成を行い人材の確保を図った。【H23～】捕獲数158頭(イノシシ88頭、シカ46頭、アライグマ24頭)

## 魅力を磨きつづける

◆歴史・文化・景観、魅力のPR、来訪者の受け入れ体制

### 世界遺産登録推進事業

**282万円** 世界遺産登録推進協議会において世界遺産登録に向けての条件整備を行うとともに周知・啓発活動を実施。(専門委員会、講演会など啓発事業、推薦書作成準備)【H18～】

### 観光交流活性化事業

**1,200万円** 明日香村の価値(歴史・文化・自然等)を国内外に広く伝えることで、来訪客増加と交流を促進するとともに、地域振興及び地域経済の活性化を図るため、光の回廊、彼岸花祭等を実施。

### 教育旅行推進事業

**300万円** 地域の特性を活かした滞在型の体験交流プログラムとして、国内外から教育旅行の誘致を促進し、地域の活性化及び地域経済の発展を図った。【H23～】受入泊数5,672泊

### 駅前広場整備事業

**7,597万円** 飛鳥観光の玄関口として、観光情報等の提供や道路利用者等への快適な交通環境の提供を図るため、便益施設等を整備。公衆トイレ 建築面積 A=106.4㎡、駐車場 大型4台、小型46台、身障者用2台

### 観光拠点施設整備事業

**2,400万円** 飛鳥駅前の総合案内所を改修し、飛鳥観光のワンストップ窓口として整備するとともに、総合案内拠点としての体制整備を実施。【H30～】  
A=169.98㎡



▲飛鳥駅前の総合案内所

### 飛鳥宮跡保存活用事業

**22万円** 飛鳥宮跡の確実な保存と有効な活用に向け、県と連携して史跡の追加指定及び公有化を促進し、飛鳥宮跡活用委員会を設置して、活用基本構想を策定。【H25～】史跡指定面積 35,927.28㎡

### 牽牛子塚古墳等整備事業

**9,101万円** 牽牛子塚古墳と越塚御門古墳の保存・活用に向けて整備工事を実施。史跡地整備(グラウンドアンカー工・補強盛土工・法面整形工等)【H25～R2】

### 日本遺産魅力発信事業

**51万円** 日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～」を国内外に発信し、観光振興による地域の活性化を実施。【H27～】

### 里山景観修景事業

**469万円** 歴史的風土にふさわしい里山景観の修景を行うため、生活環境や景観に影響を及ぼす竹林の伐採を実施。(間伐・整理 5,010㎡ 岡、祝戸、上、川原、豊浦)【H30～】

## 村民等との協働

◆地域住民、各種団体、企業、NPO、学校等との連携・協働

### 村民協働事業

**36万円** 景観づくり協議会による景観形成活動に対する景観配慮意識向上への支援を実施。【H23～】

**3,980万円** 大字単位の景観、環境美化の維持・保全及び伝統行事の継承に対する支援を実施。【S55～】

**4,629万円** 住宅等の新增改築に伴う屋根、外壁及び石積みに対する支援を実施。【S55～】

### 地域おこし協力隊事業

**1,080万円** 過疎地域に認定された本村において、地域外から定住し、活動を行う人材の積極的な受け入れを実施。(農業分野1名、観光分野2名)【H29～】

### 社会連携事業

**465万円** 大学との地域連携【H17～】。学生ボランティア活動(清掃、イベント)・講座の開催(東京、明日香小学校)・大官大寺CG及び解説本作成

### 芸術文化事業

**1,107万円** 村内在住の芸術家による作品展や音楽会の開催、公民館を活動拠点とする文化団体等や次代を担う子どもたちの日頃の練習成果を発表する場(あすかキッズフェスタ)を設けるなど、文化の香り高い村づくりを推進した。また、各集落に伝わる伝承等をまとめた冊子「繋 明日香村の大字に伝わるはなし」の刊行支援。



▲あすかキッズフェスタ

### 新庁舎建設推進事業

**1,398万円** 新庁舎建設に係る用地取得に向けた協議及び基本設計における調査及び検討を実施。(用地測量・地質調査・収用法に基づく事業認定申請協議・地区計画策定協議・基本設計検討業務)

## 健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率	財政健全		財政悪化		財政悪化
	明日香村の指標	早期健全化基準(黄色信号)	財政再生基準(赤信号)		
実質赤字比率	赤字なし	前年度なし 15%	20%		▶実質赤字比率＝一般会計などの赤字が経常的な収入(村税・地方交付税等)に占める割合 ▶連結実質赤字比率＝すべての会計の赤字が経常的な収入(村税・地方交付税等)に占める割合 ▶実質公債費比率＝地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額が経常的な収入(村税・地方交付税等)に占める割合 ▶将来負担比率＝将来負担することになっている負債額が経常的な収入(村税・地方交付税等)に占める割合 ▶資金不足比率＝各公営企業の資金不足額が受託収益を除いた営業収益に占める割合
連結実質赤字比率	赤字なし	前年度なし 20%	30%		
実質公債費比率	6.2%	前年度6.0% 25%	35%		
将来負担比率	41.1%	前年度40.3% 350%			
資金不足比率	資金不足なし	前年度なし 20%	経営健全化基準(黄色信号)		経営悪化

※資金不足比率の対象は水道事業、下水道事業です。